

# 平成28年度 ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト

## 読書活動支援者育成事業地区別研修実施報告書

(南会津) 教育事務所

1 実施期日	平成28年6月15日(水)	時間帯: 13時20分~16時35分
2 会場	只見町朝日振興センター	
3 出席者数	総出席者数 計 43名 (男性 12名 女性 31名)	
(内訳)	親・PTA …2名 小学校教員 …3名 中学校教員 …5名 保育士・幼稚園教員…2名 ボランティア団体…13名 社会教育関係者 …3名 子ども教室関係者 …2名 町教育委員会 …6名 振興センター職員 …3名 図書館職員 …1名 南会津教育事務所…3名	
4 研修会概要		
1 開会式 (13:20~13:30)	進行 社会教育主事兼指導主事 猪股 克亘	
(1) 開会		
(2) 主催者あいさつ	福島県教育庁南会津教育事務所長	渡辺 惣吾 (代読)
(3) 日程説明・諸連絡		
2 講演 (13:30~15:20)		
(1) 講師紹介	南会津教育事務所次長兼社会教育課長	佐々木孝一
(2) 講演	演題「科学の本って おもしろい」	講師 科学読物研究会 坂口美佳子 氏
(3) 内容		
【科学と科学の本を楽しもう】		
1) どうやって?		
① 子どもの興味のありかに気付く		
② ささまざまな直接体験と本の間接体験をむすぶ		
※ 科学あそびとは、年齢に関係なく、みんなで一緒に実験をしたり、物作りなどをする中で、科学を知識として学ぶというより、あそびの中で科学のおもしろさ、楽しさを体験しようとするもの。		
③ 体験を共有し、共感する	「親でも学校の先生でもない大人が共感してくれた」という体験は子どもの自信を育てる。	
④ 「体験は育ての親」	本と体験の間をキャッチボールの様に自由に行き来することによって、相乗効果で本の魅力も、実体験の楽しさも何倍にも膨らむ。本を紹介することで、子どもたちの興味を広げ自ら学ぶ楽しさへ、つなげる。	
2) たよりになる図書館		
① 魅力的な科学の本とは・・・3つの条件	・1つの真理をじっくり取り上げた本 ・やさしくておもしろい本 ・体験とセットで楽しめる本	
② 科学あそびの本について		



### 3) まとめ

気負わずに 敬遠しないで すきなものから 1冊でも。

### 4) 子どもに興味を持たせるものの製作

- ① めだまがぎゅ ② 月齢早見盤 ③ おもしろ分光器 ④ おどるへび君 ⑤ 鉄粉

### (4) お礼のこたば

主任社会教育主事 渡部 学

## 3 休 憩 (15:20~15:35)

## 4 実践発表 (15:35~16:25)

### (1) 朝日小読み聞かせボランティア 酒井真樹子 氏

- 1) 読み聞かせの活動について(活動時間、頻度等)
- 2) 読み聞かせの実演
- 3) 本の内容によって会場を変える
- 4) 雰囲気作りは大切
- 5) 発音が良くなる口の体操
- 6) 自分が楽しむことで子どもたちを楽しませられる



### (2) 只見町教育委員会図書サポーター 菅家 成美 氏

- 1) 具体的な業務
  - ① 環境整備(課題図書の書架設置、調べ学習スペース等)
  - ② 表示作業(本の見出し、エリア表示、分類等)
  - ③ 本の紹介(おすすめコーナー設置)
- 2) 入庫作業と除籍作業
- 3) その他
- 4) 最近嬉しかったこと



## 5 閉 会 (16:25)

## 5 感 想

### 【講演について】

- 実験や体験したことで、もっと知りたいという気持ちに私自身なりました。好奇心旺盛な子どもたちは、もっとそう思うはずです。そんな気持ちを育てていけたらなと坂口先生のお話を聞いて思いました。「本は人を豊にする」坂口先生とお会いして、それを強く思いました。本当にありがとうございました。
- 講演は即実践できるもので、大変良かったと感じています。また、只見を意識してくださり、自然に関する本の紹介もありがたかったです。
- 絵本等のととても細かい説明が大変ためになりました。
- 読み聞かせと科学が同時に学べる事ができるとは意外でしたが、実験や実物を見せながら読み聞かせをすれば、確かに子どもたちは、科学も本も好きになってくれると思いました。大人でもすごく楽しかったです。早速自分の子どもにもしてあげたい、もっと本を読んであげたいと思いました。
- 理科離れが心配される現在、少しでも科学に興味を持ち、調べてみようとする子が増えるように科学の本を広げていければと思います。また、良い講演があれば是非聞きたいと思います。

### 【実践発表について】

- 実践発表は大変面白く、かつ参考になるものばかりでした。自分の学校でも活用できると思います。読書を通して子どもたち一人一人が、成長できるよう私も頑張りたいです。

- 場所を変えて読み聞かせをするなど私もやってみたいと思いました。楽しく取り組める内容が多く、保育所の子どもたちとも出来そうなことを話していただきありがとうございました。
- 読み聞かせボランティアの実践も楽しく、一生懸命の様子が良かった。また、サポーターの方の努力されている様子が伺えた。
- 発表のまとめ方がうまく、わかりやすかった。
- 実践発表は、今後も各校の事例など出し合うことが大切だと思います。各町や事務所の行政担当者の現状報告もあると良いと思いました。

## 6 成果・課題

アンケート結果（有効回答数 40）

### 【講演について】

大いに参考になった 95% ある程度参考になった 5% 参考にならなかった 0%

### 【実践発表について】

大いに参考になった 52% ある程度参考になった 48% 参考にならなかった 0%

### 1 成果

- 子どもの興味のあるものを理解して読み聞かせることによって、子どもの知識を広げるということを理解してもらうことができた。
- たくさんの本のリストの提供と本の内容等の紹介をしていただいたので、参加者が読み聞かせをしたい本について考えることができる研修となっていた。
- 実験や製作をすることによって科学に興味を持たせ、読書につなげる方法について理解してもらうことができた。
- 読み聞かせボランティアの方の実践発表を聴くことによって、自分たちの活動との違いを感じてもらうことができ、良い刺激になったと思われる。
- 図書サポーターの方に発表してもらうことにより、学校の担当者と相談をしながら読書活動を進めた成果について理解してもらうことができた。
- 開催地区の教育委員会の方と相談をしながら進めることにより、ニーズに合った研修を実施することができた。そのために参加者も多かった。
- 学校や保育所等にも参加を呼びかけたところ先生方にも受講していただくことができた。

### 2 課題

- 実践発表は、いろいろな地区の読み聞かせの実践を話していただくと研修者の参考になると思うので、町の担当者やいくつかのボランティアの方に発表していただくなど、さらに研修者のためになる企画をしていきたい。
- 域内すべての小中学校、保育所等にチラシを配布したり、ホームページ等でも紹介したりしたが、さらに参加者が増えるように周知方法を工夫したい。